

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19099-1	青少年健全育成費	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	07:青少年の健全育成と青少年活動の促進	科	項 青少年対策費
戦略プロジェクト		目	目 青少年対策費	

② 目的・概要	対象	青少年と青少年に関わる地域の方々
	目的	家庭・学校・地域が一体となって青少年が安全且つ心豊かに成長できる社会環境づくりを進める。
	概要	『「亀山っ子」市民宣言』の理念に基づき、青少年の健全な育成のために地域・家庭等がそれぞれ何が出来るかの取り組みに対しての支援を行う。

		27年度	28年度
①	名称	「亀山っ子」市民宣言PR活動	計画値
	補足	「亀山っ子」市民宣言の内容を浸透させるため、各種会議などでPRを行った回数	実績値 4 単位 回
②	名称	子どもSOSの家の登録件数	計画値
	補足		実績値 771 単位 件
③	名称	サマーキャンプのボランティア人数	計画値
	補足	サマーキャンプの運営に関わったボランティアスタッフの人数	実績値 90 単位 人
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画				年度実績							
④ 事業の計画・実績	<p>子どもの防犯対策として防犯ブザーの配布(小1、中1)や「子どもSOSの家」事業を実施した。 また、青少年育成指導員、「愛の運動」活動者への研修や青少年育成市民会議の実施するサマーキャンプへの支援など、育成者・指導者の育成や活動支援に取り組んだ。 さらに、青少年育成市民会議や子ども会育成者連絡協議会の子どもの体験、交流、学習活動に対し補助金を交付し、日本ボーイスカウト鈴鹿地域協議会に対し謝礼金を交付した。</p>				<p>子どもの防犯対策として防犯ブザーの配布(小1、中1)や「子どもSOSの家」事業を実施した。 また、青少年育成指導員、「愛の運動」活動者への研修や青少年育成市民会議の実施するサマーキャンプへの支援など、育成者・指導者の育成や活動支援に取り組んだ。 さらに、青少年育成市民会議や子ども会育成者連絡協議会の子どもの体験、交流、学習活動に対し補助金を交付し、日本ボーイスカウト鈴鹿地域協議会に対し謝礼金を交付した。</p>						
					事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 4,289	平均給与額×③
					国庫支出金				一般職員人件費 ② 3,034		
					県支出金				所要人員 ③ 0.40		
					地方債				臨時職員人件費 ④ 1,255		
					その他		52		受益者負担額 ⑤		
					一般財源		4,788	4,779	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
					再掲	翌年度への繰越額					
						前年度からの繰越額					
						総人件費		① 4,289			
	総コスト		⑥ 9,068								

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	「亀山っ子」市民宣言の意義や具現化行動について、青少年育成市民会議が「亀山っ子」市民宣言具現化行動の推進主体であることを再確認し、具現化行動計画の策定を進めるとともに、青少年健全育成のために大人が行う行動として、SOSの家や愛の運動、サマーキャンプなどの実践についての支援を行った。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	青少年健全育成にかかる関係機関や社会教育団体などと担い手や、今後の展開についての方向性を共有していく必要がある。	
	【改善の方向性】	青少年の健全育成は地域の重要課題であるという共有認識を、青少年育成市民会議などの社会教育団体、地域まちづくり協議会などとの連携や協議の中で深めるとともに、第2次総合計画や生涯学習計画において、青少年健全育成のためにそれぞれの立場、役割の中で何をなすべきかを位置づけていく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆